

項目	説明	
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	患者血清を用いた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病態に関わる蛋白質・ペプチドの調査
	研究対象者	2021 年 8 月 30 日から 2025 年 3 月 31 日に当センターにて入院治療を受けた SARS-CoV-2 陽性患者。
	研究目的	COVID-19 重症化予測可能なバイオマーカー開発および Long-COVID の原因探索を行います。 COVID-19 は SARS-CoV-2 により引き起こされる多彩な臨床症状を呈する全身性疾患であるが病態の詳細は不明な点が多く、特に、①患者自身が気付かないような軽症者における急激な呼吸不全の重症化（いわゆる silent hypoxia）、あるいは②嗅覚・味覚障害・脱毛など治癒後の後遺症の長期化（いわゆる Long-COVID）が世界的に深刻な問題となっています。本研究では残余血清を用いて COVID-19 病態に関わる可能性のある蛋白質・ペプチドを調査し、①重症化バイオマーカーの開発、②Long-COVID バイオマーカーの開発を目指しつつ、これらから③病態解明に迫ります。
	研究方法	当院で診療に用いられた採血検査の残った血清を利用し、COVID-19 の病態に関わる蛋白質・ペプチドの濃度を測定して臨床症状や他の臨床データとの相関を評価します。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2021 年 9 月 13 日～西暦 2025 年 3 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[×]総長が研究実施を許可した日 []西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[×]試料:	[]血漿、[×]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載: _____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: _____)
	[×]情報:	[×]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[×]年齢、[]生年月日、[×]性別、[×]既往歴、[×]併存疾患、[×]外来日・入院日・退院日、[×]臨床検査値、[×]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[×]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[]ゲノムデータ、[×]看護記録、[]その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 築地 淳（感染症内科/感染制御室）
	共同研究機関および責任者	施設名・氏名

	その他の機関	施設名（・氏名）
	外国へ提供する場合	国名と当該外国における個人情報保護に関する制度名または URL
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		施設名・所属・氏名・連絡先神奈川県立がんセンター・感染症内科/感染制御室 築地 淳 利用停止のお申し出は 2024 年 3 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります